

第一章 エネルギーの現状を把握する

石油、原子力、太陽、水力、風力の問題点

第一節 石油はいつまで持つか

石油の生産量は1966年を分岐点に落ち始めた

石油の値段が相対的に下がり、大量消費が進むことに

石油の枯渇問題を、生成の原理から見る

石油はまだあるという楽観論が消えない理由

現段階のまとめと結論 石油

第二節 原子力は安全か

安全性のポイントは一つ

〈ポイント〉数多くの技術の中に、危ないものがある

〈ポイント②〉地震国・日本の原発は、安全だが安心できない

現段階のまとめと結論 原子力

第三節 太陽は石油の代わりになり得るか

太陽電池が何十年経っても「有望」のままの理由

日本は世界の中でも石油に頼っている国

人口密度が高い国は、太陽エネルギーは非効率

太陽電池で自動車を動かすところとなるか

「太陽電池は無限の光を使うから環境にいい」というトリック

現段階のまとめと結論 太陽エネルギー

第四節 水力、風力、バイオ、自然エネルギーは有望か

水力発電——利用は全体の数%が限界

風力発電——自然に悪影響が出るのは必至

バイオ——発電は可能だが大量の植物が必要

地熱や潮力——現状は「使えそう」止まり

現段階のまとめと結論 水力、風力、バイオ等

第五節 ここまでの事実確認に間違いはないか

エネルギーの歴史を振り返る

逆転した「月給(消費量)」と「遺産(エネルギー)」の関係  
「豊かな生活」と「工」な暮らし」はそもそも矛盾する

105 102

## 第三章 食糧と温暖化問題を考える

エネルギー問題から派生すること

107

### 第一節 人間の生命エネルギー、食糧の未来

世界の穀類自給率を比較する

108 108

食糧は石油と密接な関係がある

112

すでにできあがっている弱肉強食の世界

115

先進国でも食糧不足はあり得るか

118

日本の危うい未来とは

123

現段階のまとめと結論 食糧問題

128

### 第二節 事実に基づかない温暖化問題

イメージ先行の温暖化報道を再整理

130 130

温暖化よりも日本が考えるべきこと

137

「温暖化によって作物の収穫量が減る」のウソ

141

現段階のまとめと結論 温暖化問題

144

## 第三章 日本のエネルギー問題

将来に必要な備えとは

145

### 第一節 石油の代わりはなににあるのか

無策という人災が日本を危機に陥らせる

148

太陽電池への期待は的外れ

146

工業品、医薬品などあらゆるものが石油頼み

151

エネルギーを石油でまかなっている量は少ない

154

石油はいつなくなるか

156

石油が枯渇してきたときにくる未来

159

現段階のまとめと結論 石油の将来

164

### 第二節 原子力発電に頼っていいのか

原発は「耐震性」と「人災」をクリアすれば安全

165

地震大国・日本がすべきこと

166

安全性に絶対を求めるのではなく、危機に備える

169

廃棄物の取り扱いは技術的に確立している  
原発の震災とは「秘密主義」と「専門主義」

柏崎刈羽原発から見る「事実を伝えていない」ことの危険度

問題は科学ではなく人災にある

廃棄物の埋設は危険ではない、放射線もそれほど有害ではない

現段階のまとめと結論 原子力の将来

183 180 178 176 173 170

### 第三節 ヨーロッパ各国のエネルギー事情

ドイツの電力は半分が石炭で、原子力は3分の1

スウェーデンは水力発電が半分を占める

太陽光発電も、環境にいい国と悪い国がある

日本の注目すべき天然資源は「海」

現段階のまとめと結論 他国との比較

196 193 191 188 185 185

### 第四節 「省エネ」で「出る」のを減らせるか

ハイブリッドカーは資源を節約できるのか

ハイブリッドカーが主力にならない理由

「電気自動車はCO<sub>2</sub>を出さないエコカー」はおかしい

国全体で省エネはできない

204 202 199 197 197

日本へのエゴには矛盾が多い

CO<sub>2</sub>排出量を増やし続けたNHKから教訓を学ぶ

人間が活動すれば、省エネにならない

現段階のまとめと結論 節約の効用

213 211 209 207

## 第四章 エネルギーの未来と私たちの生活

今後、向かうべき方向とは

世の動きや価値観は30年ごとに変わる

石油がなくなると困る分野の技術開発が必須

日本にとっては、寒冷化より温暖化がいい

最も危険な思想は「節約」「省エネ」「悲観論」

技術は、当時の常識を覆して進んできた

人間が将来を正しく予想できたことは一度もない

人間は、信じたいことを信じる生き物

「私にもできやうか」を探してはいけない

環境問題と金融崩壊の関係性を考える

238 234 231 229 228 224 221 219 216 215

巨大な変化は、文化、社会、政治と各分野で一気に起こる	240
2008年の洞爺湖「エコサミット」に隠されていた金融崩壊	243
グローバル化のセッションの中で「節約」と「リサイクル」を捉え直す	245
技術革新への挑戦	246

おわりに

249

参考文献

252

図表作成

(有)美創